



# 夢をかたちに

週報

2008～2009年度 RI会長

李 東 建

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanrc@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanrc@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第1951回 No.38

平成21年5月9日(土)

本日のプログラム

創立40周年記念式典

### 第1950回例会

#### 会長挨拶

野井倉洋豪会長

今回は1950回の例会です。40周年記念式典の最終打ち合わせです。

役割分担を確認してください。さらに当日の進行について説明してもらいます。不明な点がありましたら質問してください。台湾よりのロータリアン来鹿の最終スケジュールについても若松国際奉仕委員長より説明していただきます。都合のつく方はなるべく出迎え 歓迎会 指宿方面観光の同伴をお願いいたします。

次回は5月9日 記念式典です。全員で祝いたいものと考えます。

#### <会務報告>

○次週5月5日(火)は祝日の為休会です。8日(金)は台北グラランドパークRCの方々のお迎え、歓迎レセプション、式典当日の観光案内、翌日のお見送り等、姉妹クラブ担当の若松会員を中心に進めていきますので皆様のご協力よろしく願いいたします。9日(土)の創立40周年記念式典、心に残る式典になりますようこちらもよろしく願いいたします。

○5月17日(日)地区協議会です。次年度の会長・幹事より出席依頼のあった方はよろしく願いします。

#### <出席報告> 4月28日

会員数	35名	前々回出席者	24名
出席会員	25名	メイクアップ	11名
出席率	71.43%	出席訂正率	100%

#### <スマイルボックス>

☆野井倉洋豪君一本日は40周年最後の打ち合わせです。よろしくご検討ください。

☆立根博文君一長い間欠席しまして申し訳ございません。

☆山田忠茂君一4月27日次年度委員長会議を行いました。参加された皆様にスマイルをいただきました。ありがとうございました。次年度、皆様のご協力よろしく願いします。本日計 36,000円 累計 341,000円

#### マルチプル・ボール・ハリス認証バッジ贈呈



#### 「友」インターネット速報

##### イタリア大地震の被災者に迅速な支援の手

4月6日、イタリア中部で大地震が発生、300人近い犠牲者が出ました。そのわずか数時間後、シェルターボックスのボランティアチームが、家を失った数百世帯に、245個の救援物資セットを届けました。この大地震により、数万人がホームレスとなり、山間地帯にある町、ラクイラで、少なくとも1万5,000棟の建物が全半壊の被害を受けました。地震被害による混乱の中、シェルターボックスの救援チームと地元のロータリアン、そしてイタリアの市民保護団体が一体となって、アッセルジ村の近くに5つのテント村キ

キャンプを設置しました。

世界中のロータリークラブが支援している草の根の災害救援団体、シェルターボックスでは、テント、毛布、浄水装置、調理機器、そのほか生活するのに必要な基本的な道具や物資の詰まった箱を提供しています。この箱で、10人家族が6か月間生活することができます。

最も被害が大きかったのは、アルバニアとイタリアの一部を含む第2090地区です。同地区は、被災地への中期的・長期的な救済プロジェクトについて話し合うため、今後2週間以内にイタリアのほかの9地区と会合を設ける予定です。また、最も被害が大きかった地域社会にエンジニアと建築家を派遣し、専門技術を提供する予定です。

### RI会長メッセージ

#### 子どもの命を守る



親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、今月号の『The Rotarian』と、すべてのロータリー地域雑誌で、皆さんは「グローバル・アウトルック」の最新版をご覧になれます。本号では、子どもの死亡率に関する現状と、それに対しロータリアン

たちがどのように活動しているかについて取り上げています。皆さんがこれらの記事を読んで、仲間のロータリアンたちがこれまでに達成していることに喚起され、子どもの死亡率低下のために戦う皆さんのクラブの奉仕活動を広げるきっかけになればと願っています。私が最初にRIのテーマとして「夢をかたちに」を選択し、ロータリアンたちに子どもの死亡率を下げることに焦点を当てるよう求めたとき、私たちは本当に変えることができると確信していました。私は子どもたちの命を救うための重要な分野、すなわち、水、健康と飢餓、識字率向上などは、ロータリーの奉仕活動が卓越していることを知っていました。そして、ロータリアンたちはこの目標に奮起して、それに向かって一生懸命に働く種類の人々であることも知っていました。それにもかかわらず、ロータリアンたちの反応は私の期待をはるかに超えるものでした。クラブや地区のプロジェクトは、決意と成功のうちに、人々のいのちを救っています。そして、私たちの皆がポリオ撲滅のため力を合わせて働いているのと同じように、後に続く世代のいのちも救っていることを私たちは知っています。

最終段階に到達したポリオ撲滅ロータリーの2億ドルのチャレンジが発表されてからの数か月、私はロータリアンたちに、どうしてこれほどまでに多額の新たな資金を、ポリオ撲滅のためにつぎ返もうとしているのかについて、説明する機会を数多くもちました。その答えは、簡単に言えば、私たちはこのキャンペーンの重要な、そして、(私が考えるところ)最終的な局面を迎えているからです。

ポリオ常在国は、アフガニスタン、インド、ナイジェリア、それにパキスタンのわずか4か国だけとなりました。しかし、これらの

国々には、紛争、当てにならないインフラ、複雑な地形、低い公衆衛生、そして高い出生率といった、ポリオ撲滅に対する障害が存在しています。

インドのウッタルプラデシュ州だけでも、毎月50万人の子どもが生まれます。そして、普通なら免疫を与えるのに十分なワクチンの投与量も、この地域では2倍にしなければなりません。その理由は、この地域の子どもたちは、経口ポリオワクチンと競合する非常に多くの異なるウィルスにさらされ、数多くの細菌を体内に抱えているからです。

来るべき世代でも「夢をかたちに」 これら最後の4つの国々からポリオを一掃することには、多くの人々や組織の支援と参加が要求される、集中的で力強い調和のとれた活動が必要です。ロータリーに籍を置く私たちは、当初からこのポリオ撲滅活動の一翼を担ってきました。そして私たちは、それを最後まで見守る約束をしています。このようにして、私たちは今年度だけでなく来るべき世代でも「夢をかたちに」しなければならないのです。

環境問題に力を注ぐ新クラブ アメリカのミネソタ州とウィスコンシン州にまたがって新しく結成されたダールズスベリアーエコロータリークラブ(RC)は、環境問題に力を注ぐ一方、若い会員をターゲットに活動しています。

昨年11月に誕生したこのクラブは、毎週火曜日の夕方、市内で人気のレストランで例会を開いています。例会費は1回5ドル、ドリンクとスナックという軽食で済ませるなど、場所、時間、費用のいずれも若い専門職業人にとって魅力的なものとなっています。30人いる会員の大半は若年層の専門職業人で、75%が若い女性。20代の会員も所属し、幹事のケイ・ビガさんは「40代の私は、一番年上のグループに入りますよ」と話します。

例会は短めにしようとしたのですが、「みんな、ワインやビールを注文して遅くなり、例会場も商売繁盛」とビガさん。クラブは月に1回、ロータリーを知ってもらうため「外回り」をして、例会の代わりに、商工会議所の月例懇親会に加わります。

環境をテーマに掲げ、クラブ名にも、奉仕プロジェクトにも、それを明確に打ち出し、毎月、環境や地域のためのプロジェクトに参加してきました。同じく環境に関心の高いロシアのバイカルエコRCとの国際プロジェクトも計画しています。

5/19(火) クラブ協議会 地区協議会報告		5/26(火)	6/2(火)
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
5 / 13 (木)	鹿児島南	サンロイヤル	ゲスト卓話 山田愛月さん
	鹿児島西	山形屋	ゲスト卓話 幾留秀一様
	鹿児島西南	ゆうづき	クラブフォーラム
5 / 14 (木)	鹿児島東	山形屋	ゲスト卓話
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	△15日に変更
	サウジアラビア	鹿児島東急イン	ゲスト卓話 山田愛月さん
5/15(金)	鹿児島	山形屋	ゲスト卓話 山田愛月さん
5/18(月)	鹿児島中央	山形屋	地区協議会報告
5/19(火)	鹿児島西	鹿児島東急イン	クラブ協議会